

「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

熊本県 地域フォーラム 報告書

平成 30 年 12 月 16 日（日）に、「スポーツ庁委託事業 オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」熊本県地域フォーラムが開催されました。熊本県内の市民の方や、オリンピック・パラリンピック推進校の先生方にお集まりいただき、以下の要項にて執り行われました。

【開催概要】

日時：2018（平成 30）年 12 月 16 日（日）13 時 00 分～16 時 20 分

会場：くまもと県民交流会館パレア

主催：熊本県教育委員会、熊本市教育委員会 運営：NPO 法人ひとづくりくまもとネット

参加者：約 245 名（学校関係者・一般市民等 約 60 名、

熊本工業高校・熊本農業高校・大津高校・熊本西高校・熊本第二高校・済々黌高校等
高校生 約 185 名）

プログラム：

13：00～ 早稲田大学オリンピック・パラリンピック教育研究センター作成 DVD 上映
（「夢に向かって 車いすアスリートの挑戦」）

13：25～ 開会挨拶

熊本県教育庁教育指導局 体育保健課長 西村 浩二 氏

13：30～ トークショー

講師：井原 正巳 氏（北京オリンピック サッカー男子 U23 日本代表コーチ）

14：30～ 休憩

14：40～ シンポジウム

テーマ「支えるスポーツからオリンピック・パラリンピックムーブメント」

シンポジスト：濱本 昌宏 氏（熊本県教育庁教育指導局体育保健課主幹兼学校体育係長）

慶田花 英太 氏（沖縄国際大学 講師）

堀内 規生 氏（視覚障害者マラソンガイドランナー）

コーディネーター：中川 保敬 氏（熊本大学教授・NPO 法人ひとづくりくまもとネット理事長）

16：10～ 閉会行事

16：20～ 閉会

開会にあたり、熊本県教育庁教育指導局体育保健課長の西村氏から、「2019 年度は、熊本県でラグビーワールドカップや女子ハンドボール世界選手権大会があり、さらに 2020 年には東京オリンピック・パラリンピック大会が開催されます。スポーツのビッグイベントが続くので、本日のフォーラムをきっかけとして、今後、スポーツが人々の豊かな人生に結びつくことを期待しています。」と、挨拶をされました。

次に、北京オリンピックでサッカー男子 U23 の日本代表コーチを務めた井原正巳氏によるトークショーが開催されました。講演は、井原さんご自身がプレイヤーとして活躍していたときや、監督就任後の経験談を中心とした内容でした。会場には、サッカー部をはじめとした熊本県内の高校生らが多く駆けつけ、厳しいスポーツの

世界を体験された方の貴重な話を、熱心に聞いていました。トップの選手は自身の弱点を客観的に判断し、弱点を補うためのプラスアルファの練習を当然のようにしており、そのような影の努力をしなければ強くなれないということや、落ち込んだときは、変えられない結果を悔やむよりも、前向きに気持ちを切り替えることが大切であるということなどを話して下さいました。質疑応答では、高校生を中心に、「日本代表のキャプテンや、監督になって意識したことはありますか？」など、多くの質問があがりました。質問に対して井原さんからは、チームをまとめる者の役割として、苦しいときこそ叱咤激励してチームの勢いをつけることや、自分ひとりでまとめようとせず、副キャプテンやその他多くの仲間たちにも支えてもらいながら、チームが一丸となるよう努めたと話して下さいました。最後に、スポーツイベントは、ボランティアなしには成立しないほど彼らの影響力が大きく、ボランティアを経験することでトップ選手と交流したり、試合を実際に観戦して、刺激を受けられるというメリットもあるため、ぜひ2020年の東京大会には、積極的に参加してほしいと語って下さいました。

続くシンポジウムは「支えるスポーツからオリンピック・パラリンピックムーブメント」というテーマで行われました。中川氏がコーディネーターを務め、堀内氏が「伴走者としてスポーツを支えている立場」から、慶田花氏が「支えるスポーツを理論的な視点」から、濱本氏が「熊本県のスポーツの状況及びスポーツイベント等の進め方など」について、シンポジストとして講演されました。堀内氏からは、伴走者として視覚障害者のランナーが安全に、かつ全力でコースを走ることができるよう、わかりやすい声かけの仕方を考えながら支えることの難しさや充実感を、慶田花氏からは、10代などの若い世代からボランティアに対する意識や意欲を育成し、生涯にわたってボランティアに携わる人材育成の必要性を、濱本氏からは、熊本県の教育プランや今後のスポーツイベントの実施予定、オリパラ事業の実践例紹介や成果などを話していただきました。

最後に中川氏より、ボランティアをすることによって受けた刺激は、新しい自分の夢や目標を見つけることに繋がり、今回のシンポジウムを通して、スポーツを支える人の重要性が再認識されるとともに、ボランティアをうまく活用しながら今後の熊本県のスポーツを盛り上げていきたいと、括っていただきました。



DVD 上映中の様子



挨拶（西村 浩二 氏）



井原氏のトークショーの様子



シンポジウムの様子



コーディネーター 中川氏



シンポジスト
(右から堀内氏・慶田花氏・濱本氏)